

市有施設・土地の活用に関するサウンディング調査の実施について

市有施設・土地のさらなる有効活用を図るためには、民間事業者のアイデアやノウハウを活かした新たな活用事業を実施するなど、公民連携が重要になると考えています。

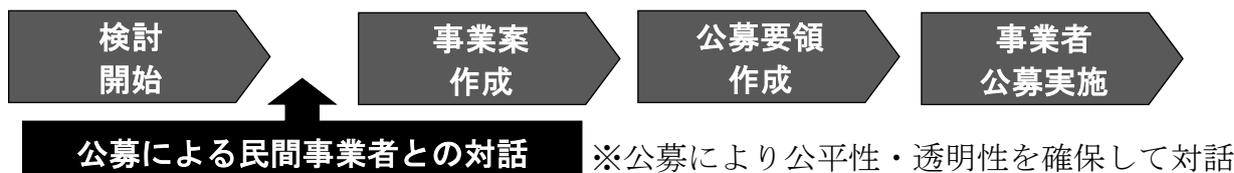
また、連携にあたっては、事業検討の段階で市場性や実現性が高いスキームを把握することで、円滑でより効果的な事業実施が可能になると考えられます。

についてはこのたび、公募による対話を通じて、多様な事業者から広く意見や提案を求める「サウンディング調査」を実施します。

1 サウンディング調査とは

事業の検討にあたって、民間事業者から広く意見や提案を求め、対話を通じて事業の市場性の有無や実現性の高いスキーム、民間のアイデア等を把握しようとする調査です。近年、施設や土地の有効活用に向けて実施する自治体が増加しています。

サウンディング調査を活用した事業検討フロー



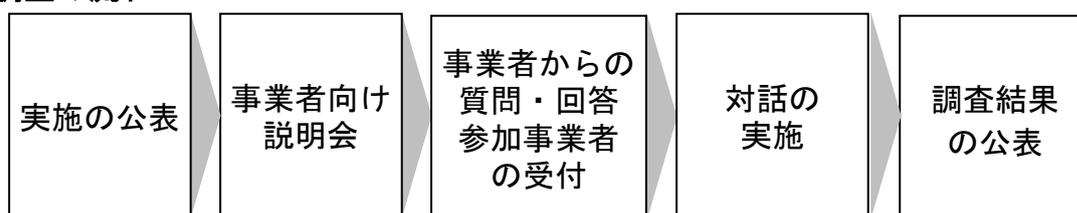
参考

- ・英語の「sound」には「考えを探る」の意もあることから、通常の個別のヒアリングと区別する意味で、近年「サウンディング」ということばが用いられることが増えています。
- ・平成 28～29 年度の 2 年間に 152 自治体で 258 件の調査が行われています (NPO 法人日本 PFI・PPP 協会調査)
- ・本市では、平成 28 年 7 月に複数施設包括管理業務委託に関する調査を実施しています。

2 サウンディング調査の主な効果

- ・公募することで多様な事業者の参加が見込めます。
- ・多様な事業者から意見を聞くことで参入しやすい事業公募条件を設定できます。
- ・事業者への早めのアナウンスになり、事業の公募までの検討期間が長くなることから、より充実した提案が期待できます。

3 調査の流れ



4 スケジュール

日程	内容
7/27(金)	サウンディング調査の実施を公表（実施要領等を公表）
8月中旬～9月上旬	事業者向け説明会 事業者からの質問・回答 参加事業者の受付
9月中旬～10月中旬	対話の実施
10月下旬～11月上旬	調査結果の概要を 第2回 財政健全化推進協議会で報告した後、公表

5 対象案件

No.	施設・土地名称	所管課	調査概要
1	大蔵海岸施設 (公園・駐車場ほか)	政策室・海岸課	土地の一部を活用した新規事業者の誘致による賑わいづくり、歳入増加につなげるための活用方策
2	大久保北部市有地	都市開発室	市が所有する約 19ha（市街化調整区域）の土地について、当該土地の立地特性を活かした活用方策
3	あかねが丘学園跡地	都市開発室	好条件で売却するために必要な事項、売却価格見込み
4	魚住清掃工場跡地	都市開発室	残地（西部学校給食センター南側 旧施設あり）の活用方策
5	現本庁舎敷地	都市開発室	土地の全部又は一部を売却する場合の需要、価格見込み、まちの活性化につながる活用方策
6	都市公園等 (石ヶ谷公園・明石海浜公園・明石北わんぱく広場)	緑化公園課	比較的規模の大きな3つの公園について、公園施設の設置許可や Park-PFI を活用した利便施設の設置等、それぞれの公園の特性を活かした活用方策
7	道路総務課・道路整備課所有地(長期未活用地 3箇所)	道路総務課・道路整備課	長年、未活用になっている土地についての活用方策
8	道路総務課所有地 (現月極駐車場用地 2箇所)	道路総務課	現駐車場の民営化に向けた事業者の意向
9	明石駅前立体駐車場	交通安全課	駐車場民営化の手法(まちの活性化に資する活用方策、実現性の高いスキーム等)
10	少年自然の家	青少年教育課	現施設の機能を残した民間移譲の実現可能性及び現施設以外の機能での活用方策

※今回の調査に併せて、対象案件以外の施設・土地についても、事業者からの活用に向けた自由な提案を募集することとします。